

中村委員からの提供資料

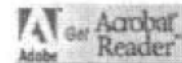
1. 滋賀県琵琶湖研究所の研究テーマのご紹介
(琵琶湖研究所HP、電子版オウミアより)
2. 滋賀県琵琶湖研究所要覧
3. 琵琶湖に関する試験研究機関連絡会議 共通・類似テーマ一覧
4. オウミア（琵琶湖研究所ニュース）No68～No71

注：資料部数の都合上、2. および4. については委員のみの配布とさせていただきます。ご了承下さい。

1. 滋賀県琵琶湖研究所の研究テーマのご紹介
 (琵琶湖研究所HP、電子版オウミアより)

電子版オウミア Newsletter

Home



研究所の活動および琵琶湖情報をわかりやすく紹介するため、オウミア(研究所ニュース)を発行しています。その電子版オウミアをこのページでご覧いただけます。

号	タイトル	年月
No.70	光を使って溶存有機物を調べる (PDF:339KB)	2001.3
No.69	琵琶湖の未来環境を守る自律潜水ロボット「淡探」の誕生 (PDF:465KB)	2000.12
No.68	森林発達と渓流水質との関係を調べる (PDF:493KB)	2000.8
No.67	画像処理による植物プランクトンの検出と分類	2000.3
No.66	北湖の湖底で何がおこっているのか? -チオブローカの出現-	1999.12
No.65	環境保全型の土地利用をめざして -濁水問題から考える-	1999.9
No.64	物質の流れの中での土壌の役割 -地味だけど大切な緑の下の力持ち-	1999.3
No.63	水中顕微鏡を使った湖中探査 -びわ湖のプランクトンを直接覗いてみました-	1998.12
No.62	水の中の未知なる物質 -湖水中の溶存有機物の研究-	1998.9
No.61	ノンポイント汚濁負荷と湖内現象	98.2
No.60	アオコ発生の謎を探る隔離水	97.11
No.59	底泥の無酸素状態を改善する	97.8
No.58	沖合生態系の異変を探る	97.2
No.57	泥のごく表面を調べる	96.11
No.56	陸域の人間活動と栄養塩流出	96.8
No.55	琵琶湖の水質と森林の関係を探る	96.3
No.54	アオコ発生の謎を探る	95.12
No.53	濁水と琵琶湖生態系	95.10
No.52	農業と環境の調和を考える	95.6
No.51	湖底の泥を調べる	95.3
No.50	水位低下と水草	95.2
No.49	やりとげました！BITEX	95.1
No.48	水位低下進行中	94.9
No.47	河川環境を考える	94.3
No.46	滋賀県の酸性雪の実態と特徴を探る	94.2
No.45	変化する湖岸	93.12

No.44	<u>琵琶湖湖底からのメッセージ</u>	93.8
No.43	空から見た琵琶湖	93.3
No.42	<u>新たなるナゾ-琵琶湖のピコプランクトン-</u>	93.2
No.41	<u>環境保全と地域振興に複眼の視点を</u>	92.10
No.40	定点写真で見る琵琶湖の変化	92.7
No.39	<u>びわ湖の水質を付着藻類にたずねる</u>	92.3
No.38	<u>びわ湖へ流入した河川水は？</u>	91.12
No.37	<u>生活排水処理対策の費用と便益</u>	91.9
No.36	当事者の環境学を	91.6
No.35	<u>琵琶湖の水質保全に役立つ森林管理とは…</u>	91.3
No.34	水鳥と湖岸環境	90.12
No.33	<u>光ファイバーレーザーで植物プランクトンを連続計測、画像化</u>	90.9
No.32	<u>アジア大都市の水問題と琵琶湖</u>	90.6
No.31	<u>蛍雪作戦シロウトのサイエンス</u>	90.3
No.30	琵琶湖の雪	89.12
No.29	湖の物質変動の最前線、河口域	89.10
No.28	湖岸植生・陸上から水中まで	89.6
No.27	生活排水処理計画を考える	89.2
No.26	水の文化のほり起こし	88.12
No.25	水源の保全にむけて	88.9
No.24	川の水が湖の水になるまで	88.6
No.23	水辺の生物から湖岸環境を調べる	88.3
No.22	望ましい生活環境とは	87.12
No.21	山林河川を探る	87.9
No.20	環境保全のシナリオを描く	87.6
No.19	18号と合併	
No.18	水質浄化機能を探る	87.3
No.17	びわ湖水質の動きを測る	87.1
No.16	河川からびわ湖への汚濁流出を探る	86.9
No.15	目でみる滋賀の環境	86.3
No.14	湖底の湧水を探る	85.12
No.13	資源豊かな西の湖	85.7
No.12	地域環境研究の方法	85.4
No.11	琵琶湖水の動態に関する実験的研究	84.12

No.10	琵琶湖集水域の現況と湖水への物質的移動に関する総合研究	84.9
No.9	59年度事業概要の紹介	84.5
No.8	琵琶湖研究所初年度の成果(4) 都市化・工業化にともなう水・土地利用と地域構造の変化に関する研究	84.3
No.7	琵琶湖研究所初年度の成果(3) 琵琶湖集水域の降水量分布の研究	83.12
No.6	琵琶湖研究所初年度の成果(2) 琵琶湖集水域地下水の研究	83.8
No.5	琵琶湖研究所初年度の成果(1)	83.5
No.4	2年目をむかえる琵琶湖研究所	83.3
No.3	琵琶湖研究の基地をめざして 新所屋の竣工	82.12
No.2	本格化するプロジェクト研究	82.8
No.1	琵琶湖研究所スタート	82.6

琵琶湖問題に関する試験研究機関連絡会議
平成13(2001)年度 共通・類似テーマ一覧

注) テーマ(課題)の正式名称が長いものは、一部省略して記入した

テーマ	機関名	水産試験場	衛生環境センター	琵琶湖研究所	琵琶湖博物館	森林センター	農業総合センター 農業試験場
水生生物		沿岸魚類修復 資源管理促進対策 湖産アユ総合調査 アユ漁況予報 外来魚抑制	プランクトン調査	内湖生物多様性-	博物館資料の- コイ科魚類の- -の生態学 -の貝類に関する研究 水生植物の- 魚類分布および- 堅田内湖の魚類- -の寄生虫相に関する研究 -大型鯉脚類に関する研究 「カワウ問題」-		
水質変動		定点定期観測 主要漁場動向調査 漁場環境実態把握	水質調査	塩津湾水質形成-	富栄養化と沈水植物-		
赤潮・水華		固有魚復活対策	プランクトン異常発生対策	未来環境実験計画	富栄養化と沈水植物-		
水質改善		赤野井湾調査		G I S-手法開発 非正常流入負荷-	堅田内湖の魚類-		
酸性雨			酸性雨調査	森林回復過程-		森林衰退モニタリング	
森林地境				森林回復過程-		ヒノキ林の土壌酸性化- 水環境保全機能- 水源との関わり-	
化学物質			ゴルフ場排水調査 琵琶湖底質総合調査	微量化学物質- 非正常流入負荷-			
汚濁軽減		宇曾川濁水調査		微量化学物質- 非正常流入負荷-			再生紙マルチ利用等- 土壌管理対策- 有機質資源施用 環境収支適正化- 「こだわり農産物」- 資源循環の高度化-
人と環境				G I S-手法開発 微量化学物質-	中世村落確立過程- 過去1万年の-変遷 水利形態の復元- 烏丸半島における-		

平成13年度 琵琶湖問題に関する試験研究課題(統一書式による機関別集約)

注1). テーマは、「水生生物」、「水質変動」、「赤潮水華」、「水質改善」、「酸性雨」、「森林地域」、「化学物質」、「汚濁軽減」、「人と環境」で記載願います。

注2). 担当は、他機関からの問い合わせに対応できるよう、代表者、連名、グループ名+代表者など工夫願います。

①水産試験場

テーマ	試験研究課題名	試験研究計画の概要	研究期間	機関名	担当
水生生物	沿岸帯の温水性魚類生産機能修復再生研究	ヨシ帯におけるニゴロブナやホンモロコの再生産に関する状況把握およびヨシ群落の機能の現状評価	H13~H15	水産試験場	栽培技術担当、遠藤
	資源管理型漁業促進対策事業	ニゴロブナ・ホンモロコ・セタジミの資源動向と漁獲等に関する調査研究	H4~		栽培技術担当、三枝・西森
	湖産アユの質的保全に関する総合調査研究	湖産アユの初期成育機構の解明(仔稚魚期の分布と発育、育成状況に応じた種苗利用の検討等)	H9~H13		生物資源担当、田中
	アユ漁況予報調査研究	アユ産卵状況調査、ヒウオ曳き調査、魚群調査等アユ資源動向把握調査	S15~		生物資源担当、鈴木・氏家
	外来魚の資源抑制研究	外来魚資源動向調査、ブルーギル捕獲・繁殖阻止技術開発等	H13~H15		生物資源担当、井出・大山
水質変動	琵琶湖定点定期観測調査	彦根港と安曇川尻を結ぶ線上の5定点で、水深別に水質・プランクトン等を調査	T4~		環境病理担当、津村
	主要漁場環境動向調査	真珠漁場水質環境調査、産卵保護水面環境調査等	継続		環境病理担当、孝橋
	漁場環境の悪化実態把握調査	漁具付着物実態調査、異臭魚貝類実態調査、プランクトン異常繁殖実態調査	H13~H15		環境病理担当、孝橋
赤潮水華	固有魚資源復活対策	ゲンゴロウブナ・ワタカ等の在来魚種によるアオコヤ水草抑制等、環境改善に対する効果について調査研究を行う。	H12~7		栽培技術担当、金辻
水質改善	赤野井湾水底質環境調査	赤野井湾における底泥改善事業の効果を評価するための実態調査	H4~	環境病理担当、孝橋	
汚濁軽減	宇曾川濁水調査	宇曾川における田植時期の濁水調査	S55~	環境病理担当、孝橋	

②衛生環境センター

テーマ	試験研究課題名	試験研究計画の概要	研究期間	機関名	担当
水生生物	琵琶湖プランクトン調査	定点調査(月2回)	S53~	衛生環境センター	若林、一瀬
	琵琶湖プランクトン調査	詳細モニタリング調査(瀬田川週)2回	S55~		若林、一瀬
水質変動	琵琶湖水質調査	定点調査(月1回、環境基準点監視)	S41~		河野、七里、藤原
	琵琶湖水質調査	水深別調査(月1回、4地点)	S54~		藤原、七里
	琵琶湖水質調査	底質調査(年1回、硫化物、COD等)	H7~		藤原、七里
	自動測定水質自動監視	湖辺7局、湖心3局、河川8局	S47~		井上、岡本
赤潮水華	プランクトン異常発生対策	淡水赤潮定期パトロール	S53~		一瀬、若林
	プランクトン異常発生対策	水の華対策調査	S60~		一瀬、若林
酸性雨	酸性雨調査	大気酸性雨監視に併せて栄養塩類の分析を実施	S58~		木下、岡本
化学物質	ゴルフ場排水調査	48ゴルフ場の排水について26農薬成分について調査を実施	H3~		藤田、奥村
	琵琶湖底質総合調査	琵琶湖48地点において、環境ホルモン等35物質の存在量を調査	H11~		内藤、矢田、青木

③琵琶湖研究所

テーマ	試験研究課題名	試験研究計画の概要	研究期間	機関名	担当
水生生物	内湖の生物多様性維持機構の解明	種の供給源としての内湖の評価、固有種等の在来生物が繁殖しやすい環境条件の把握、内湖の社会的機能やその変遷の解明など	H13～H16	琵琶湖研究所	西野、浜端、木村、金子
水質変動	琵琶湖塩津湾の水質形成過程	塩津湾での栄養塩類やシアノバクテリアの分布調査	H13～H16		焦、熊谷
赤潮水華	琵琶湖未来環境実験計画	自律型潜水ロボット「淡探」の運用、赤潮やアオコの立体的調査、湖底環境の持続的監視など	H13～H17		熊谷、焦、早川、辻村
水質改善	G I Sを用いた地域環境保全の対策検討手法の開発	人為的水循環システムの把握	H13～H16		東、大久保、焦、山本
	非定常流入負荷の湖内水質への影響予測評価	農地や市街地からの短期的な負荷が、湖内の水質変動に及ぼす影響の、把握と検証	H13～H16		大久保、横田、東、焦、辻村
酸性雨	森林の回復過程が渓流水に及ぼす影響	朽木村特定範囲での渓流水観察堰の水質調査	H11～H13		濱端、中島、金子
森林地域	森林の回復過程が渓流水に及ぼす影響	朽木村特定範囲での渓流水観察堰の水質調査	H11～H13		濱端、中島、金子
化学物質	微量化学物質の負荷削減に向けた住民参加による社会的なしくみづくり	微量化学物質の陸上や水中での挙動を把握するための効果的な野外調査方法の検討	H13～H16		木村、横田、早川
	非定常流入負荷の湖内水質への影響予測評価	農薬（シメトリンなど）の流出解析	H13～H16		大久保、横田、東、焦、辻村
汚濁軽減	微量化学物質の負荷削減に向けた住民参加による社会的なしくみづくり	「予防原則」に主眼を置いた、負荷削減のためのしくみづくりの検討	H13～H16		木村、横田、早川
	非定常流入負荷の湖内水質への影響予測評価	シミュレーションモデルによる流入負荷の影響予測	H13～H16		大久保、横田、東、焦、辻村
人と環境	G I Sを用いた地域環境保全の対策検討手法の開発	土地利用計画の評価、住民参加によるG I S活用手法の開発など	H13～H16		東、大久保、焦、山本
	微量化学物質の負荷削減に向けた住民参加による社会的なしくみづくり	負荷削減のためのしくみづくりの検討	H13～H16	木村、横田、早川	

④琵琶湖博物館

テーマ	試験研究課題名	試験研究計画の概要	研究期間	機関名	担当
水生生物	総合研究:博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究	博物館資料の収集、整理、保管、利用について博物館学の視点で、博物館事業の実践を通じて資料論を展開する。		琵琶湖博物館	八尋克郎
	総合研究:東アジアの中の琵琶湖 - コイ科魚類の展開を軸とした - 環境史に関する研究	東アジアに分布の中心をおくコイ科魚類を通じて、琵琶湖の環境史を明らかにする。文理提携による学際的総合研究。			中島経夫
	総合研究:琵琶湖とその集水域の生態学	魚を中心として琵琶湖沿岸域の生態学的な研究を行う。			Rossiter
	共同研究:東アジアにおける現生・化石淡水生貝類に関する研究	古生物学的、生物学的に淡水貝資料の充実をはかりながら、淡水貝のユーラシアにおける生物地理学的な研究を行う。			松田征也
	共同研究:琵琶湖の水生植物の種分化と生態分化	ヒシなど、琵琶湖の水生植物について、古生物学的、生物学的な視点を総合して種分化を明らかにする。			山川千代美
	共同研究:滋賀県内の魚類分布調査および琵琶湖博物館魚類標本の充実	琵琶湖集水域の淡水魚の分布の現状を把握し、琵琶湖博物館の魚類標本資料の充実をはかる。			中島経夫
	共同研究:堅田内湖における魚類の生態に関する研究	外来魚と在来魚の共存する堅田内湖の環境と魚類の生態を明らかにする。			井戸本純一
	共同研究:琵琶湖とその集水域における水生動物の寄生虫相に関する研究	琵琶湖水系の魚類に分布する寄生虫相を明らかにする。			Grygier
	共同研究:たんぼにおける大型鰓脚類に関する研究	水田における大型鰓脚類の分布を調査する。			Grygier
共同研究:「カワウ問題」解決に向けての生態学的アプローチ	カワウの生態を明らかにしながら、「カワウ問題」の解決の方策を探		亀田佳代子		
水質変動	共同研究:南湖の富栄養化過程に沈水植物が及ぼす影響	沈水植物の影響とナンノプランクトンについての情報を加えて、琵琶湖の富栄養化過程を再検討する。		芳賀裕樹	
赤潮水華	共同研究:南湖の富栄養化過程に沈水植物が及ぼす影響	沈水植物の影響とナンノプランクトンについての情報を加えて、琵琶湖の富栄養化過程を再検討する。		芳賀裕樹	
水質改善	共同研究:堅田内湖における魚類の生態に関する研究	外来魚と在来魚の共存する堅田内湖の環境と魚類の生態を明らかにする。		井戸本純一	
酸性雨	無し				
森林地域	無し				
化学物質	無し				
汚濁軽減	無し				
人と環境	共同研究:琵琶湖集水域における中世村落確立過程の研究	考古学資料に着目して、現在の大字につながる中世村落の成立過程を明らかにする。			橋本道範
	共同研究:琵琶湖集水域における過去1万年の自然環境と人間活動の変遷	浅層ボーリングコアに刻まれた自然環境と人間活動のイベントとの関係を明らかにする。			宮本真二
	共同研究:水利形態の詳細復元による地域環境史の総合的把握	水利形態の詳細復元を基本に、農村地域における水に代表される自然環境との関わりを歴史的に明らかにする。			牧野厚史
	共同研究:烏丸半島における自然的環境・景観保全に関する研究	水辺エコトーンの保全のモデルケースとして烏丸半島地域の景観保全についての提案をする。			中川元男

⑤森林センター

テーマ	試験研究課題名	試験研究計画の概要	研究期間	機関名	担当
酸性雨	酸性雨等森林衰退モニタリング事業	試験地10箇所を5年で一巡するよう、年2箇所ずつ森林衰退度等を調査しており、現在3巡目。うち1箇所については定期的に雨水を採取、分析している。	H2～16 (H12～16)	森林センター	試験研究担当、小島
森林地域	ヒノキ林における降雨がもたらす土壌の酸性化に関する研究	栗東町内のヒノキ林において、林外雨や林内雨、樹幹流下、土壌浸透水などを採取、水量や水質を調査。平成10年3月に間伐を実施し、前後の比較を行う。	H9～13		普及指導担当、長崎
	森林の水環境保全機能に関する研究	信楽町内の4つの山地小流域において量水せきを設置、浸流水の量と水質、雨水の量と水質について調査。平成14年度(予定)に間伐を実施し、前後の変化をみる。	H10～19		試験研究担当、高橋
	森林と琵琶湖の水源との関わりの調査研究	森林の水源かん養機能に関するデータを収集・分析するとともに、不足するデータについて現地調査を行う。	H12～22		試験研究担当、小島

⑥農業総合センター農業試験場

テーマ	試験研究課題名	試験研究計画の概要	研究期間	機関名	担当
汚濁軽減	再生紙マルチ利用等による環境負荷軽減型直播栽培技術の確立	再生紙を利用した種子マット栽培における環境負荷軽減効果の	H11～15	農業総合センター 農業試験場	環境保全担当、北浦
	環境保全型土壌管理対策推進事業	田畑輪換栽培における効果的な土壌・施肥管理技術の実証および環境負荷軽減効果の検討	H12～14		環境保全担当、小松
	有機質資源施用基準設定調査	有機質資源の連用による肥料節減効果の評価および排水水質に及ぼす影響の調査	H10～14		環境保全担当、武久
	農業環境収支適正化確立事業	水稲栽培における環境調和型農業技術(施肥改善や適切な水管理対策等)により、農業系からの負荷削減効果を総合的に評価	H9～13		環境保全担当、小林
	「こだわり農産物」生産技術の総合実証	省農薬・省化学肥料栽培や紙マルチの利用による無農薬・省化学肥料栽培、コイによる除草を含めた無農薬・無化学肥料栽培の現地実証	H11～13		環境保全担当、西堀
	資源循環の高度化による環境保全と高付加価値農産物生産技術の確立	地域の未利用有機性資源等の地力培養・肥料的効果を解明し、飼料イネ栽培における畜産有機性資源の活用等、より高度な循環利用技術の開発に資する。	H13～16		環境保全担当、武久